

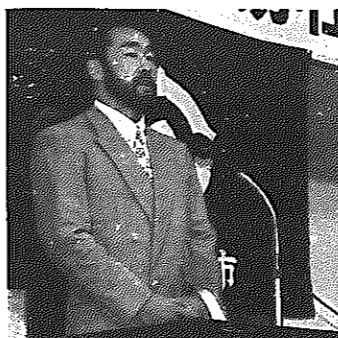
メダル獲得を 力強く宣言

原 喜彦選手
五輪壮行会

スペインで開催中のバルセロナオリンピックに出場するレスリングの原喜彦選手(上浦・二十八歳)の壮行会が六月二十八日、サルナート吉運堂で開かれ、市体育協会や県アマチュアレスリング協会などの関係者ら約二百二十人が出席しました。原選手はソウルオリンピックに続いて二回連続のオリンピック出場。本県出身のレスリング選手としては初の快挙です。

原選手は日体大を卒業後、教員として新潟北高校に勤務。教職に就きながら競技者生活を続け、三月のオリンピック最終選考会兼全日本選手権大会で見事優勝、バルセロナへの切符を手にしたものです。また四月にイランで行われたアジア・アマチュアレスリング選手権大会では二位に輝き、バルセロナでのメダルの獲得が大きく期待されています。

壮行会では滝沢市長が「今まで



▲決意表明をする原 喜彦選手



鍛えてきた精神力と体力で世界に羽ばたき、バルセロナでは悔いのない試合をしてほしい」と激励。併せて、地方在住というハンディキャップを努力で乗り越え、オリンピック連続出場という偉業を成し遂げた功績により、市長表彰が贈られました。また市や市体育協会などから激励費が贈られました。原選手は「ここまでこれたのは職場の理解や、練習に協力してくれた高校生など、周りの人たちのおかげ。オリンピックは二度目なので、今度はぜひメダルを取ってきます」と力強く決意表明。バルセロナでの完全燃焼を誓い、大きな拍手を浴びていました。

オリンピックのレスリング競技フリースタイルは八月三日から七日まで。原選手は八月四日から行われる74キロ級に出場します。

ウラジオの空に大風舞う

農民の船
訪問団

ウラジオオストク開放を記念した友好訪問団「農民の船」に白根の大風が参加。七月三日から六日間の日程でウラジオオストクを訪れました。

一行は県知事を団長とする四百三十人で、本市からは九人が参加。七月五日、ジナモ競技場で市民も参加しての大風揚げとなりました。訪問団の実行委員でもある本間風合戦協会の会長は「初めての土地なので、天候や風を十分下調べしました。予想以上に暑く、風も弱かったのですが、大成功でした。今後も国際交流の場で白根の大風が活躍してくれることを願っています」と話していました。



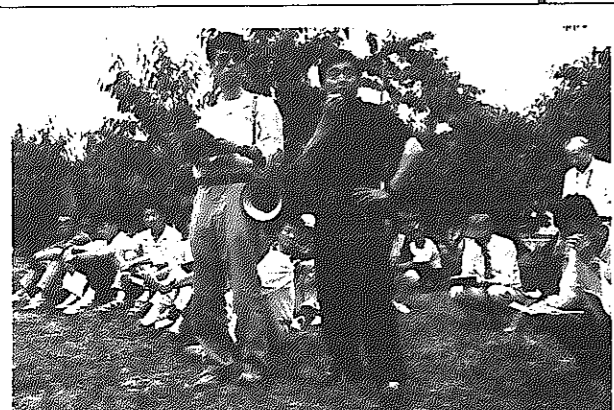
県外へ売り出せ「新潟の桃」

桃現地
研修会

県果樹振興協議会などが主催した「四年度新潟県桃現地研修会」が六月十九日、本市で開催されました。この現地研修会は、生産技術の向上と県内の主産地の交流が目的。生産者、農協、市町村の担当者など約百五十人が参加しました。

研修会は、まず田上町の傾斜地栽培と茨曾根地区の転作田での栽培を視察。カルチャーセンターでの研究会では「新潟の桃を大いに宣伝し、県外での販売比率を高めよう」との方針が確認されました。

来年六月には、全国桃研究大会が本市で開催されます。



トップレベルの作品が一堂に

巡回展
県展

県展の巡回展と県ジュニア展が七月十七日から二十三日まで、カルチャーセンターで開催されました。県展は県下最大の美術展で、巡回展が本市で開催されたのは初めて。県内トップレベルの作品が一会場で見賞できるとあって、市内外から一万一千人が訪れました。

県展会場には日本画をはじめとする七つの部門の入賞作品や、地元出品者の入選作品など五百四十六点を展示。市美術協会役員らによる部門ごとの作品解説も行われ、愛好者たちは鑑賞のポイントなどの解説に聞き入っていました。

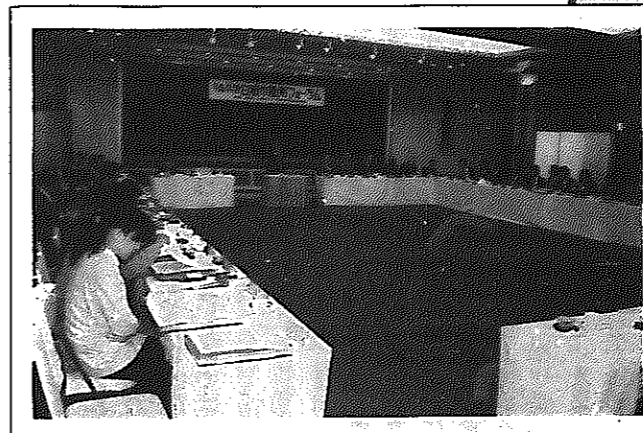


地元企業への就職を促進

雇用フオーラム

新規卒業者の地元企業への就職を促進しようと、市経営振興協議会などが主催した「白根雇用フオーラム」が六月二十三日、サルナート吉運堂で開かれました。この会議には、市内の企業三十二社と十三の高校・専門学校が就職担当者が出席。率直な意見交換がされました。

学校側からは「求人票だけでは、生徒は実際にどういう仕事をするのか分からない。学校訪問時に詳しい説明を」などの要望が出され、企業側は「休日や賃金などの条件面のほかに、研修制度にも力を入れてほしい」と学校側にPRしていました。

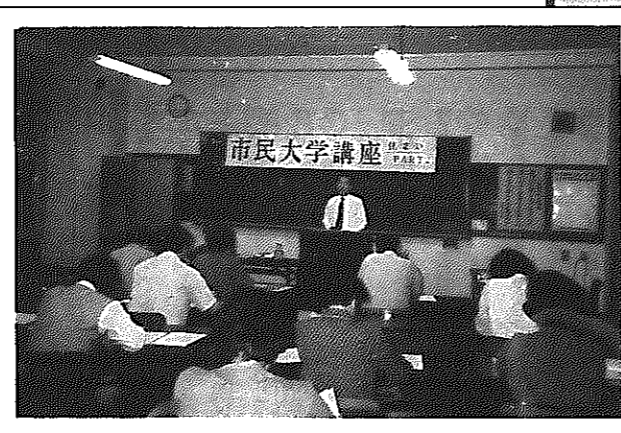


高齢者が住みやすい家造り

市民大
学講座

今年度前期の市民大学講座が六月二十三日から七月十四日まで、四回にわたって開かれました。今回のテーマは、昨年好評だった「住まい」。

講座では住まいの増改築と修繕、和風住宅と洋風住宅、三世代同居住宅、照明と冷暖房などについて、県建築士事務所協会会員が講義しました。住宅の新築を考えているという受講者は「意外に気付かない点に注意しなければならぬことや、十年、二十年先を考えた家造りという点で、とても勉強になった。このような機会をまた設けてほしい」と話していました。



やっぱり笑顔がいちばん

大倉修吾
講演会

六月二十八日、白井地区公民館の主催で「生き生き白井ふれあいトーク・文化講演会」が開かれました。講師はBSN新潟放送の人気パーソナリティー大倉修吾さん。人気者の講演とあって、会場の白井中学校体育館には子供からお年寄りまで約百人が集まりました。

大倉さんはおなじみの軽妙な語り口で、番組の裏話や自身の体験談を次々と披露。コンビを組むサツばあちゃんのエピソードで会場は一層盛り上がりです。「元氣一番! 笑顔一番!」という演題のとおり、会場は笑いの渦でいっぱいでした。

